平成 25 年 11 月 5 日

各　　位

会 社 名　日 本 ア ジ ア グ ル ー プ 株 式 会 社
代表者名　代表取締役会長兼社長　　山下　哲生
（コード番号 3751　東証マザーズ）
問合せ先　取　　締　　役　　渡邉　和伸
TEL（03）-4476-8000（代表）

静岡県富士市に県下最大級のルーフトップ型太陽光発電所（約 1.7MW）を開発

当社の連結子会社である国際ランド＆ディベロップメント株式会社が、静岡県富士市においてルーフトップ型太陽光発電所を開発しますので、別紙のとおりお知らせいたします。

（別紙）
プレスリリース資料
『静岡県富士市に県下最大級のルーフトップ型太陽光発電所（約 1.7MW）を開発』

以上

日本アジアグループ

ーNews Releaseー

各　位

2013 年 11 月 5 日
日本アジアグループ株式会社

静岡県富士市に県下最大級の
ルーフトップ型太陽光発電所（約 1.7MW）を開発

グリーン・コミュニティの実現を目指し、国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社（コード：3751、本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：山下　哲生、以下「日本アジアグループ」）傘下の国際ランド＆ディベロップメント株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金丸　直幹、以下「国際ランド」）は、このたび、静岡県富士市（市長：鈴木　尚）に県下最大級のルーフトップ型太陽光発電所「富士市西部浄化センター太陽光発電所（仮）」の開発・運営を行うことを発表し、本日、富士市役所にて、富士市と国際ランドおよび共同事業体であるソーラーパワーネットワーク株式会社（日本支社：東京都港区、代表取締役：ジョナサン・パサード、以下「SPN社」、本社：カナダ）との間で、本事業に関する基本協定書を締結いたしました。

本事業は、静岡県富士市が公募した「富士市終末処理場屋根貸し太陽光発電事業」において、国際ランドとSPN社の共同事業体が採択を受けたもので、富士市西部浄化センターのルーフトップ（屋根）を利用した太陽光発電所を建設し、「再生可能エネルギーの利用促進」「災害時等の停電時における非常用電力の確保」「施設の有効利用」「積極的な地球環境問題への取り組み」を図ることを目的としており、国際ランドはEPC※1及びO&M※2業務を担当いたします。

県下最大級のルーフトップ型太陽光発電所である「富士市西部浄化センター太陽光発電所（仮）」は出力約1．7MW、一般家庭の約510世帯※3に相当する規模です。また、建設場所である富士市西部浄化センターが津波避難ビルに指定されていることから、災害時には非常用電源として利用いただけるよう、直接電力を供給するための設備も備えます。「富士市西部浄化センター太陽光発電所（仮）」は、カナダで多数のルーフトップ型太陽光発電所の開発実績を有するSPN社と日本における太陽光発電事業のパイオニアであり、自治体との長年の信頼関係をもとに防災・減災などのコンサルティングを行う日本アジアグループのノウハウを結集した太陽光発電所といえます。

日本アジアグループは、メガソーラー発電所の開発に向け、再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもと、これまでの実績で培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所を開発するとともに、地域住民の方々と本施設を活用した地域づくり、まちづくりに取り組んでいます。「富士市西部浄化センター太陽光発電所（仮）」においても環境教育、地域活動への積極的な参加、災害時における地域防災対策などに取り組み、静岡県及び富士市のパートナーとなって事業を推進してまいります。

※1「Engineering（設計）, Procurement（調達） and Construction（建設）」の略。設計、資機材調達、製作、建設工事を含む一連の流れの事を指す。

※2「Operation（運転）& Maintenance（保守点検）」の略。太陽光発電所の定期点検、モニタリングなどを指す。

※3 住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量：3.0～3.5kW（当社調べ）



◆ 「富士市西部浄化センター太陽光発電所（仮）」の概要

所　在　地	静岡県富士市宮島1260番地 富士市西部浄化センター　水処理棟
事　業　者	ソーラーパワーネットワーク株式会社・ 国際ランド＆ディベロップメント株式会社の共同企業体
想　定　出　力	約 1.7MW
想定年間発電量	約 164 万kWh
事業計画面積	10,616 ㎡
パネル種類	単結晶
パネル枚数	5,163　枚
稼　働　開　始	平成　26　年　10　月

【日本アジアグループについて】 http://www.japanasiagroup.jp/

日本アジアグループは、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

【名　　称】 日本アジアグループ株式会社（持株会社）
【上 場 市 場】 東京証券取引所マザーズ（コード：3751）
【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
【資　本　金】 38 億円
【従 業 員 数】 2,895 人（連結）（2013 年 3 月末現在）
【子 会 社 数】 62社（2013年3月末現在）

【国際ランド＆ディベロップメント株式会社について】 http://www.kld.co.jp/

国際ランド＆ディベロップメント株式会社は、その前身である国際航業株式会社の不動産事業部門として1947年の創業以来、60余年にわたり不動産の開発・運営管理、環境対策、住宅供給などの事業を国内外で実施してきました。

現在はこれら従来の不動産サービスに加え、住宅・建築物などの省エネ、再生可能エネルギーの活用など、低炭素社会の実現に向けた総合的な取り組みを「グリーンプロパティ」と定義しサービスを拡大しています。

特に再生可能エネルギー活用分野においては、太陽光発電システム導入のシステムインテグレーターとして、オーナーや事業主の立場にたった総括的な視点から、企画・建設（EPC）・運営管理（O＆M）の業務をワンストップで提供しています。

【名　　称】 国際ランド＆ディベロップメント株式会社
【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
【資　本　金】 1億円
【業 務 内 容】 不動産開発・賃貸、不動産・建設コンサルティング・設計・工事
アセットマネジメント・プロパティマネジメント
太陽光発電の導入支援・EPC・O＆M、エネルギーソリューション

【事業に関するお問い合わせ先】
国際ランド＆ディベロップメント株式会社　企画部 ： 矢野
TEL 03-3262-6091 URL：http://www.kld.co.jp/

【報道関係からのお問い合わせ先】
日本アジアグループ株式会社
経営企画本部 コーポレート・コミュニケーション部 ： 船橋
TEL：03-3288-5704 e-mail：press@japanasiagroup.jp URL：http://www.japanasiagroup.jp/